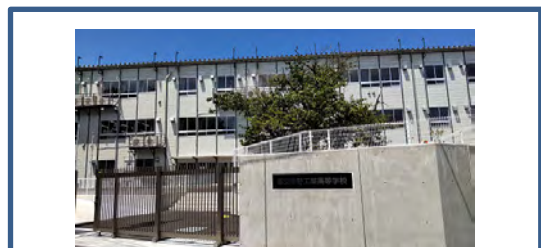


東京都立中野工業高等学校

【校長】 守屋 文俊 【生徒数】 285名 【学級数】 12学級



【課題・改善】

- 学んだ知識を実生活で活用していく力の育成
- 生徒が発見した自己の健康課題について、改善を図る力の育成が課題である。
【今後の取組】
- 今後、教科等横断的に学校全体で健康教育の充実を図っていく。
- 体験活動や具体例を用いた対話的な学習を多く取り入れていく。

【実態・課題】

- 既習の健康に関する学習について定着を図る必要がある。
⇒ 生活習慣の大切さについて、自身の生活習慣を振り返りながら既習事項の定着を図る。
- 自身の将来について考えることができるようにすることに課題がある。⇒ 生活習慣や人間関係が将来にどのような影響があるかについて取り上げ、理解を促す。

目標

- ・ 生涯を通じて自ら健康や生活環境を管理し、改善するための資質・能力を育成

【成果】

- 生徒の意識に関する成果
 - ・ 産婦人科医を招へいした授業に対し、「授業で学んできたことをより深められた」という回答が多く、今まで習得した知識を深めることができた。
- 生徒の態度に関する成果
 - ・ 「自分の生活を見直してみたい」という発言を聞くことができた。
- その他（教員の授業改善など）
 - ・ ICTを活用することで、どの単元も生徒の興味・関心を高めることができた。

【取組】

- 科目保健の授業における活動
 - ・ 興味・関心を高めるため、実例を挙げて説明したり、画像や動画を活用したりして、学習した内容を題材に話し合い活動を実施した。
- 教員の指導力を向上させるための視察
 - ・ 日本で唯一の「赤ちゃんポスト」を訪問した。これを題にして、話し合い活動を実施した。
- 産婦人科医を招へいした授業の実施
 - ・ 現在まで学習した知識の定着を図った。
 - ・ 実際に生徒の年代が悩んでいることを取り上げて説明した。

【取組（詳細）】

○ 科目保健の授業における活動

取組の説明

- ・ ICTを活用して授業を実施している。生徒の興味・関心を高めるため、単元によって効果的な動画や画像を用いながら授業を行っている。
- ・ 授業の流れは、基本的な知識を説明し、その後話し合い活動等を行っている。生徒は学んだ知識をどのような場面で活用するのか考え、課題を見つける活動を行っている。

○ 教員の指導力を向上させるための視察



熊本 赤ちゃんポスト

- ・ 沖縄県石垣島視察の内容
ブルーゾーンに指定されている地域の生活や食文化の視察を行った。
- ・ 熊本県視察の内容
日本で唯一の「赤ちゃんポスト」の視察と、熊本震災の現場やボランティアに参加していた方の説明を受けた。

視察の際の写真を活用し、「赤ちゃんポスト」の経緯や現状等を伝えることにより、より「命の大切さ」について自分の考えを深めさせるように授業改善を図る。

○ 産婦人科医を招へいした授業の実施

授業内容

専門医による「性」に関する授業を講演会という形で実施した。専門医の立場から高校生の事例を挙げて話をいただいた。また、コンドームやナプキンなどの使い方についても指導があり、生活の中で必要な知識を学ぶことができた。

生徒の様子

真剣に聞いていた。生徒に感想を聞くと、「普段聞くことができない内容を聞いた。」「知らない病気も知ることができた。」「男女問わず大切な内容だと思った。」等の意見を聞くことができた。

外部人材を活用した授業について

専門医の講演は説得力があり、生徒たちの理解を深めることができた。



体育館にて、2学年全体で実施